

川崎市公文書館だより

~Kawasaki City Archives News~



KAWASAKI CITY

第27号 平成25年10月



(アルバムA-10 写真35 当館蔵)

六郷川架橋図

新橋—横浜間に鉄道を敷設するにあたって、六郷川（多摩川下流域）への架橋が計画されました。

当初は木造で設計され、明治3年（1870）10月に着工、翌年10月に完成しました。この橋は、橋梁中最大のもので全長343間（624m）、本橋部63間（114.5m）で、橋台は石造、本橋・橋脚は木造で橋上を板で張り、その上に道床が設けられました。

しかし、この鉄道橋は木橋のため腐食が激しく、また水害のたびに破損が甚だしかったことなどから、明治8年3月工部卿伊藤博文が鉄橋架設の伺いを提出し、同年5月に許可されました。

約2年半後の明治10年11月26日に工事は落成し、新たに鉄橋が完成しました。開通まもない鉄道は、文明開化の象徴としての役割を果たし、東京や横浜近郊の旅客の増加をもたらした反面、川崎宿の旅客減少といった旧来の交通の流れを大きく変える契機ともなったようです。

発行 川崎市公文書館

平成25年度講座のお知らせ

平成25年度の今後の講座予定

初級古文書講座 11月24日、12月1日・8日・15日(全4回 いずれも日曜日)

今年のテーマは「古文書から読む幕末・維新期の川崎」です。

幕末・維新期はNHKの大河ドラマでもよくテーマとなりますが、舞台は江戸、京都が多く、また神奈川県内でも黒船来航時の浦賀、明治維新後の横浜などがよく取り上げられるものの、その頃の川崎はどうなっていたんだろう？という疑問がわきます。そこで古文書を通じてその当時の川崎を全4回にわたってみたいと思います。

申込みは10月26日(土)まで。定員30名を超えた場合は抽選になります。

■場所 川崎市公文書館 2階大会議室

■受講料 2500円((資料代を含む)

■申込方法 往復はがき:住所・氏名・電話番号を明記し公文書館まで

電子メールでの返信を希望の方は普通はがきでお申込みください。

直接公文書館でも受付けています。返信用に普通はがき又は、はがき代50円をお持ちください。

中級古文書講座、歴史講演会も今後開催予定です。詳細が決まりましたら、館内ポスターやチラシ、ホームページなどで応募方法を含めお知らせします。お楽しみに！

テキスト販売のお知らせ

25年度入門古文書講座は8月11日・18日・25日に開催されました。たくさんのご応募ありがとうございました。公文書館ではその時に使用されたテキストを販売しております。

入門古文書講座 (テキスト編)

(解答編)

(参考資料)

セットで500円です。

販売場所は公文書館です。



聞いて損はない!? 古文書の読み⑤忘れてはならない干支

ご無沙汰しております。古文書でございます。

さる8月に当館で入門古文書講座が催され、私も初日に受講者の皆様と交流を深めてまいりました。初めて実物の古文書に触れたという方がやはり大多数であり、少しでも良い経験になってくれれば…と思います。

今回も古文書の解説に関する読みを発信していきます。

古文書には現在と同様、文書に作成された年月日が記されたものが多くあります。しかし異なるところもあります。例えば干支の記載です。干支と聞くと十二支を連想される方が多いと思いますが、いくつか異なる点があります。

それは干支の「干」、つまり十干（じっかん）が抜けているからです。

十干とは

甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の10種から構成されています。古代中国では10個の太陽が一日交代で昇り、それが一巡すると考えられたことから、10個の太陽それぞれに付けられた名とされています。主に年月日を数えるために暦として使われたことから、日本にもその風習が伝えられました。（例：十二支と組み合わせて60年＝還暦）

日本では

十干は暦のほかに、順位などに使われています。（例：壬申の乱、甲類、乙種）さらに陰陽五行に当てはめる日本独自の読み方もあります。なお古文書は下記の読み方です。

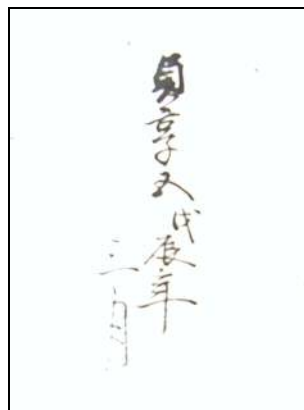
十干	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
五行	木		火		土		金		水	
読み	きのえ	きのと	ひのえ	ひのと	つちのえ	つちのと	かのえ	かのと	みずのえ	みずのと

【五行】 木（き）・火（ひ）・土（つち）・金（か）・水（みず）

【陰陽】 陰を兄（え）、陽を弟（と）←干支を「えと」と読みのはここから由来する

実際の古文書では

和暦年号の下に干支が表記されています。試しに読んでみましょう。



全ての古文書に十干が書かれているわけではありませんが、読めると理解が深まります

公文書館の散歩道

～このコーナーでは、公文書館のまわりの風景をお届けします～



ようやく炎暑も去り、散歩のしやすい季節になりました。

さあ、秋風の中、夏バテ気味の体を動かしましょう。

公文書館に向かうテニスコート沿いの道筋に、小杉神社の社が見えます。

神社の創建年代は不詳ですが、江戸時代には小杉村と呼ばれた当地の鎮守として、村民の信仰を集めていたと聞きます。

この神社の境内には大きなイチヨウの木があり、時期になると神社脇の道路は落ちた実であふれ、近隣の方々がその実を拾う姿が見られます。

時折、拾い残された実が車に踏みつぶされ、周辺にはしばらくむせ返るような臭いが漂います。イチヨウは寿命の長い、生命力の強い木です。

その実である銀杏には肺の働きを強め、元気をつけ、セキ、タン、呼吸困難などを治す薬効があると医書には書かれています。

エコ・リサイクルの時代、踏みつぶされる前に持ち帰って、塩入や茶碗蒸しなどの銀杏料理にチャレンジしてみてください。

燗酒を銀杏でやる秋の宵（おさんぽびと）



◇開館時間

午前8時30分から午後5時まで

◇休館日

毎週月曜日

祝日法に定める休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日も休館です。）

年末年始（12月29日から1月3日まで）

◇利用方法

市政資料室の資料は自由にご覧いただけます。それ以外の資料は、目録で検索し事務室にお申し出ください。ただし、資料の外部への持ち出しはできません。

資料等の複写サービス（実費）は、館内のコピー機がご利用いただけます。

公文書の閲覧については、情報公開制度により行います。

◇交通のご案内

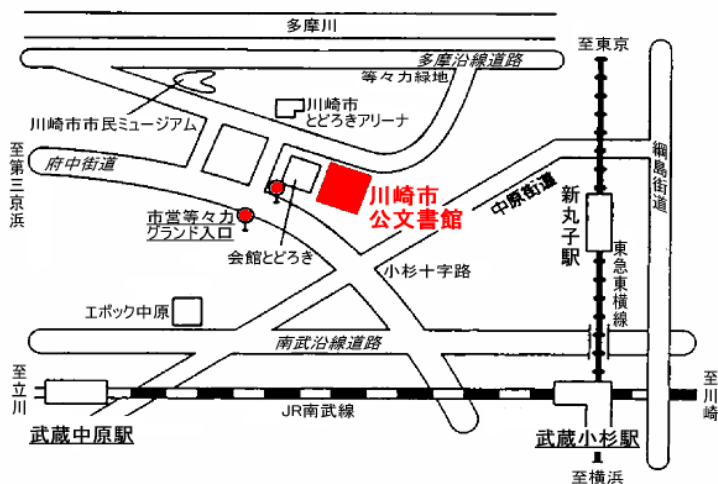
【バスの場合】

○JR南武線・東急東横線「武蔵小杉駅」・市バス、東急バスともに「小杉駅前」から「市営等々カグランド入口」下車すぐ

○JR横須賀線「武蔵小杉駅」新南改札・東急バス「横須賀線小杉駅」から「市営等々カグランド入口」下車すぐ

○JR南武線「武蔵溝ノ口駅」・東急田園都市線「溝の口駅」駅前（北口）

・市バス「溝の口駅前」及び東急バス「溝の口駅」から「市営等々カグランド入口」下車すぐ



【徒歩の場合】

○JR南武線「武蔵中原駅」から約15分

・「武蔵小杉駅」から約20分

○東急東横線「新丸子駅」から約15分

川崎市公文書館

〒211-0051 川崎市中原区宮内4-1-1

電話 044-733-3933

FAX 044-733-2400

E-mail 16koubun@city.kawasaki.jp

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/shisetsu/category/19-4-0-0-0-0-0-0-0-0.html>